

去る九月二十日、二十一日の二日間に入り、田代の公民館に、郡方、社会教育関係指導者が集り、郡主催の社会教育指導者研修会と言う、やゝこいしな名の会が開催され、田代の社会教育を診断し、先づ第一日目の二十日は、農協のトラックにお預りして、一行は猪鹿倉部落に足をのけし、あのよみがえるようなすが／＼の公民館、小組合長兼公民館長の川路美濃氏から部落運営の概要を聴き、更に猪鹿倉島淵養蚕グループの立派な活動状況を聴取して、しばらく質疑応答があつて後部落内にはいり、整理整頓の実に良き行き届いたあの目の覚めるような台所設備の状況を視察して一同感嘆たんし、更に足をのけて島淵の白桃森雄氏等数名の樹苗生埋グループをやつて居られる実管理の行き届いた立派な樹苗圃を視察して、此処でもほんとに良い勉強をさせてもらったと、一同に二度感嘆たんの声をもたせ、更に一行は島淵の高台から眺める、花瀬川の天下の絶景に後援を引かれ、

雄川ダムでは特に、二つの為に必要なを図つて下さり、あの強大な水門をボタン一つで自由自在に開閉して、大洪水の時のように水を落して見せて下さつた為、に雄川瀧はしばらくではありましたが、さながら大瀑布の観を呈し一同生れて初めて見る雄川瀑布の壮観に魅せられたかつうでした。一同の口から二度感嘆たんの声もれた事は言う迄もありません。

かくして雄川ダムを最後に現地視察を終えて再び村の公民館に引揚げて早速会議に移り、郡社会教育振興連絡協議会長の挨拶に引続き、上田村長の市政概況について、湯谷会教育長の社会教育概況の説明があつて、早速グループ運営

各町の教育長、社会教育主事と並に地区別グループ活動研修会でもありました。

東大原栽培培グループの運営について 川前 正郎氏

鶴戸野宮農政グループの運営について 楠元 忠雄氏

樹苗生産振興会の運営について 猪鹿倉忠義氏

田代中醫林クラブの運営について 川原 健彦君

からそれく立派な猪表があり、二回に深い感銘をあたえ、続いて質疑応答、全体討議にはいり、各町村の社会教育主事さん方から、田代の社会教育について、色々な角度から見た質問があり、私共はひたすらには非常に貴重な勉強のひと時でありました。

色々出た質問の中で特に私の耳目の底に今でも強くひびりついて居るのは、「猪鹿倉忠義は実にすばらしい部落であり、生活改善も台所の社会教育に深い理解を持たれ、各校、其の他あらゆる機関団体が、此の事はひと猪鹿倉部落だけの問題ではなく、田代村全体の問題でありますので、後日じっくり考えて聞く機会をつくりたいと思えます。」

最後に、指導主事、峯先生の指導講話がありました。講話の内容を要約すれば、

「田代と言う所は非常に何もかもうまく行つて居る言う事はかねがね聴いて居たが、役場を中心にして、農協、公民館、学校、森林組合と言つたような、村内のあらゆる機関が、他町村で良く見られるような組織的なものをつくらす、お互いに良く協力し合つて村の発展に一生懸命尽して居られる姿は、実に尊い姿であり自分達の太いに学ぶべき点である。

田代の社会教育に対して、果が目をつける位、此のように立派に行つて居るのは、役場、農協、学校、其の他あらゆる機関団体が、社会教育に深い理解を持たれ、社

大体順調に延びている

Ⅱ 上半期実績検討の結果について Ⅱ

わが組合が賄調組合としての指定を受け、第二年目の上半期を終りここに下半期への出発をするに当り、上半期の実績を検討しその結果をまとめて見ました。

麦、麦に等の大減収という悪条件にかかわらず、組合員の積極的な利用と協力により計画に対する実績は概ね順調に延びていると振舞われます。今後この実績に現われた欠かん是正の爲、尚一段の努力をかたむけるべきである。

以下主な検討の結果について記す。

1 金融関係

(イ) 余裕金 現金、預金、有価証券

計画二、七一五万円に対し実績は一、七二五万円で達成率は二〇・〇％である。この実績を年度始め二、六五四万円と比較すると二二

## 一、資金の計画と取扱の計画

法令に示されている、経済事業の平均資金量が減つて来ている  
えの流布は設備資金等の関係で基  
礎以内になつてゐる。又、経済事  
業の平均資金量が減つて来ている  
のであるが、貸付金が増加し、し  
かも之が長期化したつづである。

やがて無理解な観に成らないこと  
大々大陸が我々若人の舞台として  
いやと世界が、その躍進を待ってい  
る。

戦が無い、指導者が無い、環

五〇〇万円の増加となつてゐる  
(口) 貸付金  
計画二、三六八万円に対し実績  
三、〇七三万円七〇〇万円増加  
している。昨年同期二、二八八万  
円に対しては八四四万円、年度始  
二、一七三万円に對しては九〇〇  
万円、前月末、九五二万円に對

## 親愛なる田代の青年の

皆さんお元気ですか

國長始め役員幹部の皆さんお元  
気で御仕合せのことと存じます。深  
まり行く秋と共に稲穂もつしり  
と垂れて来ることでしょう。  
追憶される中でそれらのグルー  
プ活動、青団活動へと精進され  
る役員皆さんの御苦勞を申し上げ  
ます。

[illegible]

に考へるつもりでなく、自  
国くんだりまで来て始めて、自  
己の立場が足りなくな  
る。しかし勝算が足りな  
い。たとこ等過去を省み又書さんと  
味ではないと思ひます。

新農村建設運動、青年団活動強  
化と、皆さんの存在もいよゝ重  
大視され、その中堅としてリッダ  
と全団員延滞賞付の回収と共に

ある。去る六月行つた中央会によ  
る経費分析の調査にも指摘せられ  
た通り、又財務基準会から見て  
今後交付が長期化されつゝあるこ  
とを指摘し延滞賞付の回収と共に

(C) 麦類  
計画二二・一億に対し二四億で二八七億の減である(増成率一%)  
(D) 茶  
計画一、〇〇〇貫に対し実績一、〇〇〇貫で増成率一%となつた。又貸付金が計画以上にふつた。

田口への希望を告げて  
我等進まん。

◆ 俳句

亡き父と歩きし夜の  
虫が鳴く

今年は大豊作を期待される作物  
だつたそうですが台風の来襲で相  
小生の習るサリナス中は氣候絶  
佳の処で九月に入り田代と同じ位

化、專業、規模の拡大、市場の確  
協同組織の力、協販体制なく  
決するもの若人の組織の力であり

のとおかさを覚える次第です。――として、郷土の発展の裏付けとなるべく御健斗お願い致します。安全化、健全化することが必要で、そのために一応譲渡貸付して行く

三四貫で三四貫増加している  
(達成率一二三%)

て借入金を余剰なくされたことも一因である。(事業計画樹立当

◆ 短歌

当の被害があつた由、残念に思つて、七、八月よりやゝ暖いですが居り、ここにお見舞申し上げま二、三週間続くそうでインデアン

は、問題にならないそうです。グルーブ活動と違つた意識を持つていると思います。

本<sup>レ</sup>の運命と言えそうなこの事業に御一同の御健康をお祈り致します。

## 二、収益状況

○手花火に喜々とたわむる  
子等を見つ

す。毎年の台風の来襲南九州の宿サンマーと呼ばれて居ます。命でしょうか。早期栽培等、上々  
土壌も開拓し尽くされたという

組合員は四、五名から十四、五名 青年団が社会的には認められて  
小生達の雇っている組合は十三 居ても、家に帰れば、親不孝者と

海外に新しい人生を開拓すること  
して失礼致します。  
九月十九日

三万匹残っている。七、八月に係  
員並参事は個別訪問して催促相談  
したのであるが、以上の状況であ

(2) 購買東策  
計画一、四一六千円に対し実績は一八〇二円。三八〇二円増上

幼き日への思い出なつかし  
○終戦の日を迎えて

の成果の由、将来の農業を安定づける為のためまい皆さんの研究ですが、雨のない為（八カ月）冬の

白で耕作面積三千五百町歩、蔬菜  
の大産地でレタス、結球白菜に似  
に多く漬す為親の無理解に苦

の眞価を發揮出来る大きい道に  
接、通じているものと信じてい  
田代村連合青年団

瀬ノ口 四郎

したのであるが、以上の點が、  
るので、ここに到れば法的手段を  
とむるを得なくなつた。総会に

九千円の損失が実績一一千円の利益となつた。しかも経理規程に約二〇万円を余いたので如何

今は亡き  
戦友の英靈安かれと祈る







教育長 湯ノ谷 米吉

今頃の子供は「親孝行を知らぬ。もつと親に対する孝行を教えてほしい」と云う声を、時々、色々な機会でするのですが、そうでしょうか。この作品をよく／＼味つてみて下さい。簡単に、感想を色々書いてみました。今日の教育でも、児童生徒の生活指導は、各教科であらゆる機会にあらゆる場で指導され、決して放任されているわけではありません。この作品の中から生活綴り方の尊さをしみ／＼感じているところです。

い。でも大へんげんき

おはあさんはよくこんで「よか  
ぶにべんきようをしなさいね」と  
つしやいます。

にまがつていますので、雨がふる  
ときなどかきさしてしめせなか  
がひつしよめれてしまします。

つしよめれているあたり、わ  
ごすきなおはあさん、目をむ  
つてじつと云れている姿、おは

あさんの年は七十

つしよめれているあたり、わ  
つしよめれているあき、おは  
つしよめれているあき、おは  
つしよめれているあき、おは

上永瀬美枝子

上永瀬美枝子

## 田代小四い

田代小四い  
久保田 弘 著

川  
辺  
恵  
美  
子

川辺恵美

柴立道

おばあちゃんは今年で七十ですが今病気でねています。早くかち／＼になつてとてもやせ

二、三年前はどう

神経つうと云う病気で倒れて  
したこともありましたが、今  
うすつかり元気になつて居ら

させ苦労させて来

を思うとなんと感謝していい  
かりません。ほんとうに私達  
祖父達を大事にしてあげなけ

身よりを失つてた

一人ぼつちになり養老院に身を  
せてでいらつしやる年寄りの女  
の氣持はどんなであらう。生

## 小川恵子

九月十五日は、としよりの日  
す。今の年よりの方々がまだ若

RESERVED

元気で楽しくほかの友に遊ぶ  
さう。

す。おもしろい。

た壁で、私達は立派な人間に  
ていきます。おじいさんおば  
んどうか元気で養生して下さい

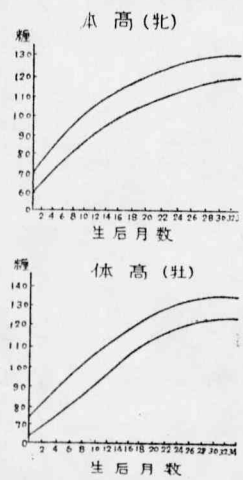
生活を支えとせ

の方々が楽しく晩年を過ごせるようにしなければならぬ。

---



いない様退散しようではありませんせんか。



3 その外いろいろ以前と

ように心掛けましょう。  
○奇生虫予防  
秋になつて色々な野菜が出廻るよらになりまして。  
生の野菜には、畑虫や色々の寄生虫の卵がたくさんついています。漬物や料理にするときは必ずきれいに水洗して使うようにし、又年に少くとも三回は虫下

△△△  
**火の元にご用心**  
△△△  
です。毎日火を扱うかまどやいろりの周圍、風呂場等が常に清掃され、整屯されている所から火災が起るはずがありません。

二、火を取扱う設備、器具  
火を取扱う設備や器具の破損が火事の原因になります。  
煙突やかまどの少々破損したのも、夏中余り火をつかわない時は何事もなく過ぎて、氣候が涼しくなつて急に火を多く使う

十月十七日は貯蓄の日です。  
「ちりも積れば山となる」のとわざと通り、少し宛の金でも根氣強く積んでいくと、何時の間にか自分でできつくする程の金額になります。  
皆さまの「夢の掛橋」となる貯蓄を今すぐ始めましょう。

これからは火事の起るものになります。今一度煙突やかまどの破損した所はないか調べてみましょう。  
三、農繁期と火災  
秋の農繁期には皆さんの家では猫の手も借り度いほど忙しいので、つい火の始末がおろそかになり、又、稲刈、その他燃え易いものを取込みますので、火の時期が農家で一番火事が殆ど生じ易くなります。特に農繁期には火災の予防に気を付けましょう。

且未嘗て見ると誰に歟

傾向はないか各家庭でも健全育成の爲に左記に注意して下さい。

一 夏休み後の九月に入つて休み中の随性や、この間にできた新しい友人關係あるいは出来事のために勉強や仕事に対する意欲がうすれる傾向はないか。

二 少年が犯罪を犯すまでには次のような形で不良化があらわれる

一 夏休み中にできた学友以外のものとの交友關係が切れずその相手が時折誘ひに来てかくれるように外出して行く異性ととの結びつきの場合には郵便とか電話に對して非常に敏感となる。

二 夏休み前にかくらべて学校からの帰宅時間が不規則になる。あるいは毎日のようにおそく帰つてくる。

三 六日間の勉強態度や拳動に落着きを失つてくる。

四 金使いが荒くなり少女は身なりが派手になる。

五 昨夜までの習慣がつき方になると思ふけるようになる。

六 その外いろいろ以前と違つた

傾向があらわれるが、とくこれらのは年頃にあちなこととして見過されがちである。しかし表面にあらわれるものはこれだけでもその裏では大人を驚くような行動が然行われてゐる場合が少なくない。

ネズミ族を退治しよう

昭和三十三年度もいよいよ收穫の秋、稔の秋を迎えました。收穫の秋は又ネズミ族饑饉の秋でもあります。

ネズミは一日に自分の体重の四分の一の量の餌を食ふです。日本全土には少く見ても人口の二倍以上即ち一億六千四万以上棲んでゐると思はれます。ネズミの平均体重を百瓦としその四分の一を見ますと一日に四千トン、年間一四六万トンの餌を食べています。このうち半分は米を食べていると考えて見ると同んど、一九三〇億円を私達から盗んで居り一人当たり二、四〇〇〇トンのネズミの餌を負担していることとなります。

よく考へて見る誠にくぐくぐんか。

早くその芽を摘み取る方法が講じられなければならない。

その相談相手として警察の少年相談所、学校教師などがあるが、まず家庭のやわらかい「雰囲気」が少年の気持を温めてやることこそ最善の方法であります。

田代巡査駐在所 宮ノ下鉄雄

ありませんか。尚又ネズミはこの外に大切なタンシヤや衣類をかじつたり、おそるべき伝染病をうつしたりします。

又、ネズミは食べ物のある処に集ります。それで秋に收穫し家庭に持込とやはりそれと並行して今まで外にいたネズミが全部家へ集つて参ります。

ネズミを退治するのはこの時期即ち集つた処に投棄する事が最も効果があるし又危険しやうい祝です。薬剤としては今の処メソソを使用しますが、部落で一斉にすべきであると思ひます。

自分の家庭には一匹のネズミもいない様追放しようではありませんか。